

### 八潮市沿革図（近世以降）

凡例 太字ゴシック体で示した村名：近世の八潮市域20か村—江戸幕府の郷帳に登場し、現在の八潮市域におおむね相当し、村名が大字に継承されている20か村—（村名の表記は『れきナビ』の見出し語）。

明治元年（1868）より武蔵知県事管轄  
同2年（1869）正月13日より小管県  
同4年（1871）4月制定戸籍法による戸籍区は小管県第八区  
同年11月14日より埼玉県  
同5年（1872）3月より埼玉県第一区  
単独ないし2～3か村連合の事務所  
同12年（1879）3月より南埼玉郡  
八條・鶴ヶ曾根両村以外は2～5か村連合の戸長役場

武蔵国埼玉郡(近世初期は騎西郡)八條領下郷(中郷・下郷)

**八條村**

※慶安元年(1648)9月西勝院・大経寺宛朱印状は「武蔵国足立郡八條村」※注1)

**鶴ヶ曾根村**

**小作田村**

**伊草村**

**松之木村**

立野堀村

**二町目村**

**木曾根村**

**川崎村**

南川崎村

明治12年(1879)3月改称

**伊勢野村**※注2)

**大瀬村**

大瀬新田  
寛永4年(1627)分村

**古新田** (古新田村・新田村)

**圀村**

**馬場村**

近世初頭分村

**上馬場村**

**中馬場村**

下馬場村

**大原村**

**大曾根村**

大曾根村新田権兵衛組  
宝暦3年(1753)検地 無民家  
大曾根村新田平次右衛門組  
宝暦2年(1752)検地

明治7年(1874)12月28日  
大曾根村に合併

**浮塚村**

**柳之宮村**

西袋新田※注3)  
もと柳之宮村カ  
寛永4年(1627)分村カ

**西袋村**

西袋村新田平次右衛門組  
宝暦2年(1752)検地 無民家

明治7年(1874)12月28日  
西袋村に合併

**後谷村**

南後谷村

明治12年(1879)3月改称

明治17年(1884)7月より  
松之木村連合

埼玉県南埼玉郡**八條村**  
明治22年(1889)4月1日合併

明治17年(1884)7月より  
伊勢野村連合

埼玉県南埼玉郡**潮止村**  
明治22年(1889)4月1日合併

明治17年(1884)7月より  
上馬場村連合

埼玉県南埼玉郡**八幡村**  
明治22年(1889)4月1日合併

大字立野堀

昭和31年(1956)9月28日  
埼玉県北足立郡草加町へ編入  
昭和33年(1958)11月1日  
市制施行に伴い、大字立野堀  
は稲荷町となる

昭和31年(1956)9月28日合併

埼玉県南埼玉郡**八潮村**

昭和39年(1964)10月1日町制施行

埼玉県南埼玉郡**八潮町**

昭和42年(1967)6月1日  
草加市稲荷町・青柳町・柿木町の各一部を編入  
同日  
大字八條・小作田・松之木・伊草の各一部を分離  
(草加市へ)

昭和47年(1972)1月15日市制施行

埼玉県**八潮市**

昭和54年(1979)4月1日  
草加市稲荷町の一部を編入  
同日  
大字伊草・松之木・小作田・柳之宮の各一部を分離  
(草加市へ)

**八潮市立資料館編『れきナビーやしお歴史事典』**

注

- 慶応4年(1868)9月「御朱印写」（八條清勝院文書No.14）に写されている万延元年(1860)9月徳川家茂朱印状にも、「武蔵国足立郡八條村西勝院」と記されている。ちなみに、「御朱印写」の差出は、「武州埼玉郡八条村　高久村密厳院新義真言宗　西勝院」。祐尊が書写した「胎蔵界」（同No.2205）の慶長16年(1611)8月付奥書には、「武州駿西郡八条西勝院」とあり。未確認であるが、寛永4年(1627)9月「武州駿西郡八条村西勝院分御検地水帳」（同No.979）あり。
- 慶長17年(1612)頃に大瀬村より分村したとする説あり（『八潮市の文化財』第2号）。
- 享和元年(1801)9月初稿・文化11年(1814)8月校定「西袋村百姓家譜序」（『八潮市史　史料編近世Ⅱ』史料34）には、「西袋村之義ハ（中略―引用者注、以下同）開発も近村より格別遅く、天正慶長（1573～1615年）之頃、干上場所へ百姓六軒出来、西ノ袋新田と名附、慶長拾七年(1612)ニ御検地入（中略）元禄八亥(1695年)御検地(中略)其砌より名目西袋と相改り」とあり。慶安2年(1649)～3年作成「武蔵田園簿」は「西袋村」。延宝3年(1675)「人別帳」（『八潮市史　史料編近世Ⅱ』史料42）は「西袋新田」。

出典

- 八潮市立資料館編集発行『第22回企画展図録　八潮が生まれた日』（2009年）
- 遠藤忠「郷土の歴史」の「八潮の地名考」（『広報やしお』第482号以下）
- 小野文雄監修『日本歴史地名大系　第11巻　埼玉県の地名』（平凡社、1993年）
- 「角川日本地名大辞典」編集委員会編『角川日本地名大辞典　11　埼玉県』（角川書店、1980年）
- 『埼玉縣市町村誌　第2巻』（埼玉県教育委員会、1972年）154、156、161ページ
- 『埼玉縣市町村誌　第17巻』（埼玉県教育委員会、1979年）239～240ページ
- 埼玉県地方課編著『埼玉縣市町村合併史　上巻』（埼玉県自治研究会、1960年）25～31、60、77～79、86、142～143、263、278、720ページ
- 埼玉県地方課編著『埼玉縣市町村合併史　下巻』（埼玉県自治研究会、1962年）1013～1018ページ
- 『八潮市史』（詳細略）
- 『八潮市史調査報告書2　八潮の民俗資料　1』（八潮市、1980年）5ページ
- 『八潮市史調査報告書5　八潮の民俗資料　2』（八潮市、1982年）5～7ページ
- 『八潮市史調査報告書6　八潮の民俗資料　3』（八潮市、1983年）5～10ページ
- 八潮市教育委員会編集発行『八潮市の文化財』第2号(1986年)10～13ページ
- 埼玉県編集発行『新編埼玉県史　通史編5　近代1』（1988年）31～33、54～55、74、78、295～297、320～321、550～551、554～555ページ
- 萩原龍夫「八潮市域の近世村落概況」（『八潮市史研究』創刊号、1978年）
- 木村礎「近世の村」（『八潮市史研究』第6号、1987年）
- 石山秀和「関東農村にみる寺子屋の意義―武蔵国埼玉郡八条領西袋村の場合―」（『八潮市史研究』第15号、1994年）
- 工藤航平「近世後期の葛西用水八条領組合の組織的変遷と地域意識」（『文書館紀要』第19号、2006年）
- 渡辺隆喜「市町村制の施行と八潮地域」（『八潮市史研究』第2号、1980年）
- 蘆田伊人編集校訂・根本誠二補訂『大日本地誌大系16　新編武蔵風土記稿　第10巻』（雄山閣、1996年）
- 北島正元校訂『日本史料選書15　武蔵田園簿』（近藤出版社、1977年）147～149ページ
- 福井保解題『内閣文庫所蔵史籍叢刊　第55巻　天保郷帳（一）』（影印版、汲古書院、1984年）228ページ
- 同『内閣文庫所蔵史籍叢刊　第56巻　天保郷帳（二）　附元禄郷帳』（影印版、汲古書院、1984年）559～560ページ
- 国立公文書館デジタルアーカイブ（http://digital.archives.go.jp）
- 木村礎校訂『日本史料選書3　旧高旧領取調帳　関東編』（近藤出版社、1969年）117～118ページ
- 埼玉県編『武蔵国郡村誌　第11巻』（埼玉県立図書館、1954年）
- 昭和31年(1956)9月28日自治省告示第461号「町村の廢置分合」（『官報』第8928号）
- 昭和39年(1964)8月25日自治省告示第97号「村を町とする処分」（『官報』第11310号）
- 昭和42年(1967)5月18日自治省告示第100号「市町の境界変更」（『官報』第12124号）
- 昭和47年(1972)1月10日自治省告示第1号「町を市とする処分」（『官報』第13513号）
- 昭和54年(1979)3月28日自治省告示第75号「市の境界変更」（『官報』第15656号）
- 八條清勝院文書(八潮市立資料館収蔵CH)